

第8回猪名川流域意見交換会 開催結果報告

日時：平成27年2月21日（土）13:30～16:50

場所：猪名川河川事務所 2階会議室

出席者：

(敬称略)

区分	No.	氏名	所属	備考
活動団体	1	いまじょう かよこ 今城 香代子	池田・人と自然の会	
	2	おおたけ よしひで 大竹 義英	池田・人と自然の会	
	3	すずき けいすけ 鈴木 啓祐	猪名川漁業協同組合	発表者
	4	おおにし らんこ 大西 蘭子	猪名川流域ひめぼたるネットワーク	
	5	たかつ かずお 高津 一男	猪名川流域ひめぼたるネットワーク	
	6	ながしま せいだい 長島 聖大	猪名川流域ひめぼたるネットワーク	
	7	むらかみ あつこ 村上 敦子	猪名川流域ひめぼたるネットワーク	発表者
	8	ながの れいこ 長野 玲子	エドヒガンを守る会	
	9	いしかわ ゆみこ 石川 由美子	大阪大学環境サークル ^{ゲックス} GECS	発表者
	10	なかしま みき 中島 美樹	大阪大学環境サークル ^{ゲックス} GECS	
	11	ゆりもと たくや 百合本 拓也	大阪大学環境サークル ^{ゲックス} GECS	発表者
	12	さとう りょう 佐藤 亮	自然と文化の森協会	
	13	ふくもと よしお 福本 吉雄	自然と文化の森協会	発表者
	14	のりひさ まさし 則久 正志	溪のサクラを守る会	発表者
	15	ふじわら はるよし 藤原 春善	出合いの島プロジェクト実行委員会	
	16	やまぐち しょうじ 山口 昇次	出合いの島プロジェクト実行委員会	発表者
	17	こんどう とみお 近藤 富雄	ナデシコガーデンズ	発表者
	18	つつい いくよ 筒井 いくよ	ナデシコガーデンズ	
	19	なかやま はるひこ 中山 治彦	ナデシコ・10	
	20	もりおか まさよし 森岡 正義	ナデシコ・10	発表者
	21	いぐさ しんいち 井草 晋一	能勢川キリスト教会／(能勢川バイブルキャ ンプ)	発表者
	22	おざわ よしあき 小澤 良明	南花屋敷最明寺川づくりの会	
	23	きむら しゅんじろう 木村 俊二郎	リバープロジェクト(近畿子どもの水辺ネッ トワーク)	発表者
	24	なかじま けんじ 中島 賢治	流域ネット猪名川	発表者
い～な！応募者	25	くめ まさひろ 衆 昌宏		
	26	しば ひろき 芝 宏樹		
	27	たにもと まきこ 谷本 真喜子		
	28	まきの なおき 牧野 直樹		
河川レンジャー	29	ならはら ともこ 檜原 朋子		
河川レンジャー協力員	30	さとう しげこ 佐藤 重子		
	31	たなか れん 田中 廉	川西自然教室	発表者
猪名川河川事務所	32	おおたに さとる 大谷 悟	猪名川河川事務所長	
	33	くろかわ あきひろ 黒川 明博	猪名川河川事務所 管理課長	
	34	にしむら かずや 西村 和也	猪名川河川事務所 管理第一係長	
事務局	35	たからふじ かつひこ 宝藤 勝彦	公益財団法人 河川財団	
	36	いのうえ ゆうき 井上 勇樹	公益財団法人 河川財団	
	37	はっとり もとこ 服部 元子	公益財団法人 河川財団	

1. プログラム

- ① 開会
- ② 猪名川流域で活動する団体の発表
- ③ 猪名川における環境学習について意見交換
- ④ 閉会

2. 開催概要

平成 27 年 2 月 21 日（土）、猪名川河川事務所の 2 階会議室において、『第 8 回猪名川流域意見交換会』を開催しました。

当日は事前募集した“団体の活動発表”への申し込みがあった 12 団体から発表があり、その発表内容（団体が抱える悩みや課題等）を踏まえた上で、猪名川における環境学習（“自然環境”および“外来植物対策”）について意見交換を、猪名川流域で活動を展開する住民活動団体および大学のサークルから 14 団体 24 名、『猪名川のい～な！』への作品応募者 4 名、檜原レンジャー、佐藤レンジャー協力員、田中レンジャー協力員とともに行いました。



猪名川流域意見交換会 開催状況

3. 猪名川流域で活動する団体の発表

事前に活動紹介の申し込みがあった12団体より、1団体につき8分程度で発表しました。

No.1 猪名川漁業協同組合

<発表概要>

発表者名：鈴木啓祐

タイトル：『猪名川漁業協同組合』

内 容：猪名川町の民田に所在する「川の案内所」を活動拠点とする猪名川漁業協同組合が毎年開催しているマス釣り大会&猪名川浄化運動大会や鮎のつかみ取り体験、川の耕し隊などについて発表しました。



No.2 猪名川流域ひめぼたるネットワーク

<発表概要>

発表者名：村上敦子

タイトル：『猪名川流域ひめぼたるネットワーク』

内 容：猪名川流域で見られる“ヒメボタル”に関する特徴や生息場所、観察会のイベントなどについて発表しました。



No.3 大阪大学環境サークル GECS

<発表概要>

発表者名：石川由美子、百合本拓也

タイトル：『箕面川清掃イベント』

内 容：大阪大学の環境サークル“GECS”が箕面川で実施している清掃イベントや産官学協同の取り組みなどについて発表しました。



No.4 自然と文化の森協会

<発表概要>

発表者名：福本吉雄

タイトル：『大好き♪猪名川・藻川♪♪
～猪名川・藻川からのすてきなおくり物～』

内 容：尼崎市の園田地域で活動する“自然と文化の森協会”が実施している5部会（農業・緑・歴史文化・水辺・交流）の取り組み内容や外来植物の駆除活動などについて発表しました。



No.5 溪のサクラを守る会

<発表概要>

発表者名：則久正志

タイトル：『溪のサクラを守る会』

内 容：“溪のサクラを守る会”が実施している川西市水明台の猪名川斜面に群生するエドヒガンをはじめ5種類のサクラに関する保護育成の取り組み内容や子どもたちとの野外活動などについて発表しました。



No.6 出合いの島プロジェクト実行委員会

<発表概要>

発表者名：山口昇次

タイトル：『豆島プロジェクト
～猪名川・藻川合流点にある「豆島」からの環境再生プロジェクト～』

内 容：猪名川と藻川の合流点にある“豆島”で実施している自然環境復元計画づくりやシンボルツリーである“エノキ”“ムクノキ”の苗の植樹作業などの取り組みについて発表しました。



No.7 ナデシコガーデンズ

<発表概要>

発表者名：近藤富雄

タイトル：『ナデシコガーデンズ』

内 容：兵庫県阪神シニアカレッジ、阪神ひとまち創造講座の5期生9名で活動している“ナデシコガーデンズ”が桑津橋上流の河川敷で実施している“カワラナデシコ”および“ヤマトナデシコ”の保護育成に関する取り組みなどについて発表しました。



No.8 ナデシコ・10

<発表概要>

発表者名：森岡正義

タイトル：『カワラナデシコの保全活動』

内 容：桑津橋上流の河川敷で実施しているカワラナデシコの保全活動や今後の課題などについて、音楽とともに発表しました。



No.9 能勢川キリスト協会/能勢川バイブルキャンプ

<発表概要>

発表者名：井草晋一

タイトル：『猪名川のエドヒガンと
能勢川（現：一庫大路次川）の自然』

内 容：猪名川の“エドヒガン”の保全や開花調査、一庫大路次川に生息する蛍や梅檀の花などについて発表した。



No.10 リバープロジェクト（近畿子どもの水辺ネットワーク）

<発表概要>

発表者名：木村俊二郎

タイトル：『近畿子どもの水辺ネットワーク』

内 容：近畿における川での学び・遊びに関する活動のサポートやスキルアップ講習会（Eボート指導者講習や安全対策など）などについて発表しました。



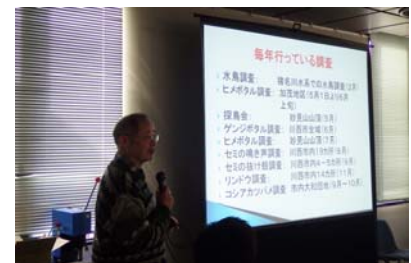
No.11 川西自然教室

<発表概要>

発表者名：田中廉（猪名川河川レンジャー協力員）

タイトル：『川西自然教室』

内 容：川西市周辺を活動範囲とする“川西市自然教室”が実施している“ヒメボタル調査”や“コシアカツバメ調査”、自然観察会などについて発表しました。



No.12 流域ネット猪名川

<発表概要>

発表者名：中島賢治

タイトル：『外来植物駆除活動
～経過報告と平成27年度の計画～』

内 容：猪名川に繁茂する外来植物の駆除に関する経過状況や現状の問題点、今後の課題などについて発表しました。



4. 活動団体の発表に関する“質疑応答内容”

12 団体の発表に関する参加者からの質疑応答内容は、以下のとおりです。

No.	質 問	回 答
①	<p>小澤氏(南花屋敷最明寺川づくりの会) 川をきれいにする活動について、農林水産省の『水産多面的機能発揮対策』という補助事業を受けているが、漁業協同組合であることから補助事業として認められているのか。</p>	<p>鈴木氏(猪名川漁業協同組合) 農林水産省の『水産多面的機能発揮対策』という補助事業は H25～H27 の 3 年間の事業の中に環境を守るという取り組みがあり、漁業協同組合が主体となって『猪名川を守る会』を立ち上げ、活動している。藻川漁業協同組合や多田漁業協同組合でも同じような会がある。そこに NPO 法人や個人などの賛同している方が一緒にやっている。</p>
②	<p>小澤氏(南花屋敷最明寺川づくりの会) 漁業以外の農業などの他業種でも会のメンバーになることができるのか。</p>	<p>鈴木氏(猪名川漁業協同組合) 川をきれいにするということに関心があれば、漁業以外の他業種でも会のメンバーになることができる。</p>
③	<p>小澤氏(南花屋敷最明寺川づくりの会) 発表でエノキやムクノキがシンボルツリーであるという紹介があったが、シンボルツリーである理由について教えてほしい。</p>	<p>藤原氏(豆島プロジェクト) 本来、河川沿いにエノキ・ムクノキが中心に生育しており、都市においては猪名川の自然林でもある。また多様性のシンボルであり、野鳥が木の実を食べに集まったり、オオムラサキやゴマダラチョウなどの食草であったりもする。そのような理由から、この付近のシンボルツリーだと思う。</p>
〃		<p>山口氏(豆島プロジェクト) ムクノキは“椋”とかく。昔の椋橋とよばれた地域と同じ字である。平安時代の終わりに椋橋荘という荘園があり、後鳥羽上皇がおこした承久の乱のもととなった所である。同じ“椋”の字のつながりから、ムクノキをシンボルツリーにしたという背景がある。</p>

No.	質 問	回 答
④	<p>糸氏（猪名川のい〜な！応募者）</p> <p>Eボートについて、子どもたちが水辺で遊ぶ時の安全管理や支援等を行っているのか。本事業の目的は子どもが主体的に遊ぶことなのか、もしくは子供と大人が一緒になって遊ぶことであるのか。猪名川を楽しむという視点から、猪名川でボートに乗って遊ぶというような体験はいいと思う。以前、猪名川にもボートを貸し出していた時代があった。豆島で実施している子供たちにボートを貸し出し、島周辺の風景を楽しめるような取り組みは、見所のある活動だと思う。</p> <p>池田と川西が中心となって、昨年9月に「第1回猪名川ドラゴンボートフェスティバル」という催しがあり、30団体程度の参加があった。猪名川において、画期的な取り組みであり、大変嬉しく思った。</p>	<p>木村氏（リバープロジェクト）</p> <p>ゴム製のボートで、操作が簡単で10人乗りである。また、子どもの水辺サポートセンターの本部の人々が講習を実施している。かつては講習がなかったが、川に学ぶ体験活動協議会では受講者にしかEボートの貸出を行っていない。また、子供と大人が一緒になって遊ぶことが目的である。以前、尼崎の城内高校で講習をしたことがある。</p>

5. 猪名川における環境学習について意見交換

猪名川における環境学習について、冒頭において猪名川河川事務所から次年度の環境学習における取り組みを説明するとともに、活動団体による発表内容を踏まえた上で、以下のとおり意見交換を実施しました。

テーマ	内容
①情報発信について	<p><u>今城氏（池田・人と自然の会）</u></p> <p>池田市域での猪名川に関する活動を15年以上活動しており、一般市民の方に魚やモクズガニの調査会やホタルの観察会などを提供している。当会員は150名程度おり、会報誌で会員に情報発信をしている。また、市の広報誌で一般の方にも情報発信をしている。</p>
	<p><u>森岡氏（ナデシコ10）</u></p> <p>当団体は、阪神ひとまち教室やシニアカレッジに情報発信をいただいている。</p>
	<p><u>中山氏（ナデシコ10）</u></p> <p>神戸新聞や放送局に取り上げてもらったことがあるが、その後はなかなか続かない。もっとカワラナデシコを増やして、向こうから取材にくるような活動を今後実施していければと思う。</p>
	<p><u>谷本氏（猪名川のい〜な！応募者）</u></p> <p>猪名川の自治体が一体となり、実施している事業はないのか。例えば、エドヒガンザクラやカワラナデシコなど、その季節に合わせた猪名川でのウォーキングを行い、自治体同士でお互いの取り組みなどを市民に紹介できたらいいと思う。</p>
	<p><u>近藤氏（ナデシコガーデンズ）</u></p> <p>本意見交換会に参加するにあたり、過去の意見交換会について、レンジャーHPを拝見したが、第5回の意見交換会までの情報しか載っていなかった。今後は、本意見交換会に参加された活動団体の紹介や発表内容、開催結果を掲載し、情報発信をしてほしい。</p>
②学校・地域との連携について	<p><u>則久氏（溪のサクラを守る会）</u></p> <p>まち山に住んでいる人たちに溪へ来てもらい、一緒にサクラを守ってもらいたいという信念があり、兵庫県で小学校三年生の環境体験学習が導入された年から、住宅地の近くにある小学校に声をかけた。また中学生には、トライやる・ウィークの一環として、きてもらった。年間20回ぐらいの活動をしている。小中学生に、自分の住んでいる故郷の大切さを学び、感じてもらう。</p> <p>先日の木曜日には、小学4年生が溪でエドヒガンザクラを植え、名盤に名前を書いてもらった。毎年、小学校3年生時にエドヒガンザクラの種を溪から学校へ持って帰り、学校で苗まで育てて、小学校4年生時に苗を溪に植えていただく。そのサクラが咲く春頃に、家族にも一緒に見に来てもらい、地域ぐるみで親しみをもってもらおう。</p>

テーマ	内 容
② 学校・地域との連携について	<p>佐藤氏（河川レンジャー協力員）</p> <p>下流部でヒメボタルの観察会を5年程実施している。今後の目標は、学校の環境教育の一環でPTAなどの主催により、子どもたちが猪名川や藻川のヒメボタルを見ていただけるような活動をしていきたい。また、スタッフが少ないのが悩みである。</p>
	<p>木村氏（リバープロジェクト）</p> <p>学校連携コーディネーター養成講座があり、文科省が実施している講習を受けると教育委員会の名簿に登録され、教育委員会側から声がかかる。</p>
	<p>福本氏（自然と文化の森協会）</p> <p>環境学習については、尼崎市の小学校14校へ実施している。活動している場所は藻川・猪名川であり、猪名川自然林などのよさを知ってもらいたい。当団体は基本的に他地域で活動はしていない。</p> <p>兵庫県の小学校3年生には、環境体験学習に関する授業費が1クラスに5、6万くらいの予算がある。当団体は、学校から委託を受けて、環境学習を実施させていただいている。また、環境体験学習の内容によるが、1万5千円～4万円程度の委託費をいただいている。その委託費が当活動団体の活動資金になっている。</p>
③ 活動団体間の連携について	<p>中島氏（流域ネット猪名川）</p> <p>外来種の駆除を実施しているナデシコ10や自然と文化の森協会に、駆除の依頼をお願いすれば一斉にやっていただけるのか。また、当団体が5月に実施予定の観察会と、併せて軍行橋の下あたりを一緒に駆除活動をしていただくことは可能なのか。</p>
	<p>森岡氏（ナデシコ10）</p> <p>地域の方の参加を増やすことが今後の課題だが、まず外来植物の駆除作業をしないとナデシコが根付かない。外来植物の駆除作業を言ってもらえたら人員の協力および対応をする。当団体は、檜原レンジャーに在来種や外来種のご指導をいただきながら実施している。</p>
	<p>福本氏（自然と文化の森協会）</p> <p>みんなで一斉に猪名川流域で外来植物の駆除ができれば、猪名川をPRすることができる。当団体は月のうち日曜日は3回くらいイベントがある。また、来年度のスケジュールを作成したところなので、調整しながら連携していければと思う。</p>

檜原氏（河川レンジャー）

外来植物対策を流域で一斉に実施していけるような情報発信ができれば、発信力は強く、外来植物対策は進み、多くの方に外来植物に関心を持ってもらえると思います。本意見交換会で皆さんからいただいた意見を、河川レンジャーとして具体的な形にできるように、皆さんのご協力をいただきながらやっていこうと思っています。

6. 本意見交換会の振り返りシートについて

本意見交換会の出席者に、今後の猪名川における環境学習を進めるにあたり、住民・活動団体の得意分野や内容、本意見交換会で話せなかった事などについて、振り返りシートにご記入していただきました。結果は次項のとおりです。

Q 1. 環境学習を進める上で、ご自身の得意分野や内容等についてご記入下さい。

【活動団体】 お名前	【大阪大学環境サークルGECS】 石川、中島、百合本	【自然と文化の森協会】 福本	【自然と文化の森協会】 佐藤
得意分野	内 容		
野鳥		講師補助・スタッフ	講師補助
魚		講師補助・スタッフ	講師補助
昆虫		講師補助・スタッフ	講師補助
植物		講師補助・スタッフ	スタッフ
外来植物対策		講師補助・スタッフ	講師
水質調査		講師補助・スタッフ	講師補助
その他	■スタッフ(上記以外の得意分野)	■独自に、小学校3年生の環境学習を実施(委託料あり) ■団体としてあれば、講師・スタッフをすべて揃えられる	

【活動団体】 お名前	【猪名川流域ヒメボタルネットワーク】 高津	【池田・人と自然の会】 今城	【池田・人と自然の会】 大竹
得意分野	内 容		
野鳥	スタッフ	スタッフ・資料提供	
魚	スタッフ	講師補助・資料提供	
昆虫	スタッフ	スタッフ・資料提供	
植物	スタッフ	スタッフ・資料提供	スタッフ
外来植物対策	スタッフ	講師補助・資料提供	
水質調査	講師補助		
その他			

【活動団体】 お名前	【ナデシコ・10】 中山	【リバープロジェクト】 木村	【ナデシコ・10】 森岡
得意分野	内 容		
野鳥			
魚			
昆虫			
植物	スタッフ		スタッフ
外来植物対策			
水質調査			
その他		■催しの開催計画・安全対策	

【活動団体】 お名前	【出会いの島プロジェクト実行委員会】 山口	【猪名川流域ヒメボタルネットワーク】 長島	【流域ネット猪名川】 中島	【能勢川キリスト教会】 井草
得意分野	内 容			
野鳥				
魚				
昆虫		講師・講師補助・スタッフ・資料提供		講師・資料提供
植物	講師			講師・資料提供
外来植物対策	講師		スタッフ	
水質調査				
その他				■写真(得意分野)

Q 2. 本意見交換会の場において、時間がなくて、話せなかったことなどがありましたら、お聞かせ下さい。

【大阪大学環境サークルG E C S 中島氏】

- 環境教育を行う班があります。班員のやりたいことと、地域のニーズが一致すればお手伝い出来ることもあるかと思えます。

【南花屋敷最明寺川づくりの会 小澤氏】

- 平成25年夏の増水以降、河川敷（レキ河原）に野バラ（茨）が増加しており外来植物対策時等で危険な場所がある。

【エドヒガンを守る会 長野氏】

- ボランティアの人を拡大していきたいのですが、どうしたらよいか皆さんにきいてみたかったです。

【猪名川流域ひめぼたるネットワーク 大西氏】

- 色んな団体が色んな活動をされている事にびっくり…そして感心しました。

【猪名川のい～な！応募者 芝氏】

- 池田市においても近年1時間に100ミリを超えるゲリラ豪雨がありました。温暖化による今までに考えられなかった災害が発生することがあると思われまます。

【ナデシコガーデンズ 近藤氏】

- こんなにも多くの団体が、広く活動していることを一元的に情報発信・PRすべきだ。それが為にも河川レンジャーのHPに、どんどん掲載すべきだ。単にリンクを貼るだけでは、弱い。例えば、今回の発表内容は全て掲載（転載）すべきだ。勿論当該団体の個別の許可が必要だが…。最後に河川事務所が、PR報告されたが、プリントで戴きたい。

【ナデシコ・10 中山氏】

- 私個人として、初めて参加させて頂き、皆さんの素晴らしい活動に接し、大変勉強になりました。この素晴らしい活動をもっと広く地域の方に知ってもらってはと思います。猪名川流域の各市では生物多様性戦略を作成し、生物の保全に関心が高まっていると思われまます。本意見交換会（または別の機会）へ各市の環境部門担当の方に参加願い、活動をよく知ってもらってはと思います。各市の広報誌等を通じて活動を広く住民の方に発信して頂ければ、もっと市民の関心が高まるのではないかと思います。

【溪のサクラを守る会 則久氏】

- お話ししたいことはすべて話せました。小学生の環境体験学習について、少々長く話すぎましたことをおわびします。（春の桜の一般公開のお誘いを話せなかったことが残念でした。）

【池田・人と自然の会 今城氏】

- 河川は全ての人のもので一部の人が自由に意のままにできるものではない。NPOの活動をいちいち色んな人の意見を聞きながら実施することはできないが、色々な活動において博物館や昆虫館の意見などを時々聞いて、より良い活動に結びつけていかないとひとりよがりになると思う。

【自然と文化の森協会 福本氏】

- 外来種対策や、水に入って魚とりなど、上流～下流で一斉に活動することができれば…。

【自然と文化の森協会 佐藤氏】

- 「イナガワ住民活動ポータルサイト」をホームページにつくってほしい。各団体の告知欄、または団体の紹介とホームページへのリンクでもいい。

【猪名川のい～な！応募者 牧野氏】

- 私には、今年の4月から小学校1年生になる息子がおります。文部科学省の学校指導要領が改定され環境体験学習を取り入れられていることに大変期待しております。しかしながら、実施する現場を息子とイベント参加という形で歩いてみると実施されている団体さんの資金・指導員・開催頻度・環境体験学習の講座種類などいま以上の充実が必要ではないかと感じます。

そこで、国土交通省近畿地方整備局猪名川河川事務所さんには、団体さんの後援を頂けたらと考えます。具体的には、活動資金面です。助成金、基金、ファンドなどです。あとは、文部科学省に関係する各教育委員会との協働連携、後援です。

あとは、今回も話ができました情報発信をお願いしたいです。情報発信には、いろいろと難しいところがあると思いますが。野鳥、魚、昆虫、植物、外来植物対策、水質調査など環境体験学習には魅力がいっぱいです。

【ナデシコ・10 森岡氏】

- 猪名川流域で活動されている皆様と意見交換が多ければ多い程、猪名川が良くなると思います。私達は、伊丹地区でカワラナデシコを一杯咲かせたいと思っています。

【出合いの島プロジェクト実行委員会 山口氏】

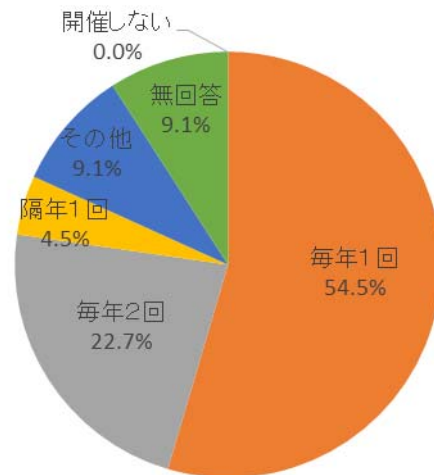
- 外来種の駆除についての意見が多かったので、猪名川クリーン作戦のように年に数度日時を決めて、猪名川の上流域から下流域全体で「外来種駆除作戦」を実行してはいかがですか。

【能勢川キリスト教会 井草氏】

- 能勢川バイブルキャンプと一庫大路地川のホタル（ヘイケボタル・ゲンジボタル・オオマドボタル等（幼虫で光ります。）、一庫大路次川の水質改善のこと。

Q 3. 本意見交換会の開催頻度および理由についてご記入をお願いします。

〈回答者 22 名〉



〈主な理由〉

- ・ 情報交換・交流の場として有用と思う。
- ・ 他団体の活動を知るのによい。
- ・ 行事計画の事前広報（共催や支援要請を含む）
- ・ この時期の開催がいいと思います。（本格活動の前）
- ・ 意見交換会を通して猪名川の環境を良くするための諸活動の現況を知ることが、関係する多くの皆様にとっても有用なことと思われます。
- ・ メンバーそれぞれも自分の活動に忙しく、時間が取れない
- ・ 年 1 回具体的なアクションを協議して、各団体で取り組むくらいでいい。レンジャーホームページで情報交換。
- ・ 毎年では報告内容にあまり変化が無いのではないか。
- ・ 夏休みや、夏のキャンプシーズンの前にも開催できると事前に色々の取組みを共有できて良いと思います。

Q 4. 行政が行う猪名川の管理について、ご意見・ご提案等がありましたら、お聞かせ下さい。

【大阪大学環境サークルG E C S 中島氏】

- A S F の開催にあたって、生きもの図鑑や水質調査キットの提供ありがとうございました。来年度もまたなにかあればご支援のほど宜しくお願い致します。

【南花屋敷最明寺川づくりの会 小澤氏】

- 東久代、北伊丹の右岸“オギの河原”が大ピンチ。軍行橋下流部猪名川の本流が元々左岸側（池田側）であったのが平成25年夏増水で“オギの河原”部分のみ右岸側に変ったため河原が侵食され狭まりつつあり大ピンチ。現状でも水面と河原の段差が約2mになり近づくと危険でもある。

【猪名川流域ひめぼたるネットワーク 長島氏】

- 各団体の活動紹介だけでは、お互いそれぞれあまり進展がないように思います。

【猪名川流域ひめぼたるネットワーク 高津氏】

- 外来種対策など市民活動への援助をお願いしたい。

【池田・人と自然の会 今城氏】

- 河川の改修がひんぱんに行われているが生き物にも配慮した形で実施してほしい。現在は治水、利水のみ重点が置かれていて生き物については一切の配慮が見られない。

【池田・人と自然の会 大竹氏】

- 猪名川をフィールドにしているグループが多くさんあるので河川管理の工事案内を事前に説明をして頂けないものでしょうか。

【リバープロジェクト 木村氏】

- 猪名川河川事務所の積極的な参加を望みたい。（他の事務所に比べ少し足りないよ）

【猪名川のい〜な！応募者 芝氏】

- 地震、たつ巻きのような自然災害も増えています。大雨による水の力というものは、すさまじいと思います。宇宙衛星からの地理の確認データを活用し、行政が協力し災害防止に努めてほしい。

【ナデシコガーデンズ 近藤氏】

- まだまだ一般向けの情報発信が不足している。河川レンジャーの発信と共存・ダブリもOKだ。具体的な例としては、工事予定と工事内容の説明が不足だ。後者では、現地に大きな看板を立て、誇示内容（含む工事総額）を掲示すべきだ。現在は、自分達の権力、公権発動で施行しており、市民の税金を使っている感覚が見えない。例えば、絹延橋の架け替え工事では総額がPRされていた。
- 河川事務所の1Fロビーが暗く陰気。ありきたりのお役所ムード。明るくし、河川レンジャーを含め、広報看板を並べ、一般来客者に広報すべし。意識改革して個性・特異性のある施設にならぬか？

【溪のサクラを守る会 則久氏】

- 「溪のサクラ」の活動地は川西市の管理地で、当会代表と市担当者の関係はよくできており、特に問題はなく安心して作業に専念できています。クリーン作戦（2／7）、臨時作業（対岸ごみ回収）（3／15）も、対応応諾（ごみ回収）で安心しております。

【猪名川のい～な！応募者 桑氏】

- まちの観光発展支援を含め、豊かで美しい猪名川が形成・維持されます様に猪名川治水の現況を市の「水だより」等に添えて時折、ご報告頂ければ、大変嬉しく思います。

【猪名川のい～な！応募者 牧野氏】

- 猪名川河川事務所さん発行されています冊子、猪名川水質調査ハンドブック。息子は日々手にとり大切にしています。

【自然と文化の森協会 福本氏】

- 地域の活動団体との話し合い。意見交換をしてもらえればうれしい。

【自然と文化の森協会 佐藤氏】

- 木を切ったり、草刈りしたりする日程の告知をしてほしい。活動に、大きくかかわりますので。例えば、バッタとりを予定していた日に、草が刈られてしまった！とか。

【猪名川漁業協同組合 鈴木氏】

- 河川管理者は、放棄されたごみを各種団体にボランティアでゴミ回収してもらうだけでなく、補助金を出してボランティア団体の育成を図ると共に、ゴミの放棄や外来魚・外来植物の持ち込みを積極的に防止するために「処罰の厳格化等」が必要な時代になってきているように考える。

【流域ネット猪名川 中島氏】

- 1. 水生生物の増化、魚類とエサとなる昆虫の増加対策強化、2. 大出水後の河川敷の樹木に引っ掛かっているゴミの清掃の呼び掛け、3. 外来植物駆除活動に対する許可証的物の発行（本活動にクレームを付けられた時（今まで無し）の説明用。現在は流域ネット猪名川発行の「猪名川の外来植物対策ハンドブック」を携行している。）

【能勢川キリスト教会 井草氏】

- 猪名川（一庫大路次川）の水質改善のために、一庫ダムの湖面に大型の曝気装置を5～6機設置して欲しい。

Q 5. 猪名川河川レンジャーについて、ひと言お願いします。

【大阪大学環境サークルG E C S 中島氏】

- 本日は、貴重な機会をいただき、ありがとうございました。G E C S 総会でお会いできることを楽しみにしております。

【猪名川流域ひめぼたるネットワーク 長島氏】

- 意見交換会として各団体が活動紹介をしあうのは良いが、客観的な立場から（たとえば科学的な知見をもって）アドバイスしてくれるような人を呼んでみると良いような気がします。意見を言いあうとはいっても、「横の立場」では言いにくいこともあるでしょう。みなさん「正しい」と思って活動されていますので……。

【猪名川流域ひめぼたるネットワーク 高津氏】

- 猪名川河川レンジャーをもっと増員した方が良いと思います。今のスタッフは十分に活動されていますが、もっと活動の幅が広がると思います。

【猪名川流域ひめぼたるネットワーク 大西氏】

- いつもありがとうございます。環境学習の中に“水”“猪名川”も盛り込んでいけたらと思いました。

【池田・人と自然の会 今城氏】

- 河川に関わる人々のたくさんの声をすいあげて行政に橋渡しをしたり、また様々な活動グループに建設的な価値ある助言などをしたりしていただけたらありがたいです。このような会合を持たれたのですからそれが今後に活かされたらと思います。

【自然と文化の森協会 福本氏】

- 日常のかかわりがよくわかりません。

【自然と文化の森協会 佐藤氏】

- それぞれ違う目的をもった団体同士を中立的にまとめるスタンスで！「共通行事」をしかけてほしい。例えば、「外来種対策ウィーク」として6月中旬の2週間を位置づけて、各団体がその間に何らかのアクションを起こすよう呼びかける（直接、ホームページ等）。ウィークの告知をホームページやチラシで広く行う。地方公共団体に連絡するなど。

【リバープロジェクト 木村氏】

- 市民対象の催しがあったらいいな。

【猪名川のい～な！応募者 芝氏】

- 美しい山、川、河川美化を通じ豊かな心をはぐくむことが大切です。環境保全に取り組んでいる方々はすばらしいと思います。

【ナデシコガーデンズ 近藤氏】

- メンバー不足では、ありませんか？上流、支流、下流域の同似組織はあるのですか？あるとすれば具体的にどんな連携活動ですか？河川レンジャーの広報物（シート）が公共施設内に置かれていない。もっとページも増やしPRすべし。他の団体の広報誌はよく見かけるが、河川レンジャーは予算がないのか？紙質・印刷が良すぎる。「出前講座」の存在を知った。国交省の出前との差異は？

【ナデシコ・10 森岡氏】

- 檜原様、佐藤重子さんにはご協力頂き感謝しております。これからも、ご指導下さる様をお願いします。

【ナデシコ・10 中山氏】

- 意見交換会だけでなく、もっと交流する場を提供願えればと思います。例えば意見交換会の後、もっと親しく交流する場として簡単な懇親会（会費1000円程度）をしてはどうかと思います。

【溪のサクラを守る会 則久氏】

- いつも心くばりしていただき感謝いたしております。これからもご支援、ご指導いただけますようお願い申し上げます。

【猪名川のい〜な！応募者 糸氏】

- 第8回の意見交換会にお招き頂き、大変有難うございました。猪名川に関し、巾広い立場から貴重なお話を多数拝聴出来、感謝申し上げます。猪名川流域発展のため大学と民間企業・地域住民をつなぐ一体的活動等の輪が広がるように猪名川河川レンジャーのサポートをこれからも宜しくお願い致します。

【出合いの島プロジェクト実行委員会 山口氏】

- 猪名川レンジャーのアピールは不足していて、一般に方に対する知名度が全くない。もう少しアピールが必要。

【流域ネット猪名川 中島氏】

- 流域にわたる事項は河川レンジャーが適任。一つの団体では限界あり。今回のやり方は良かったと思う。

【能勢川キリスト教会 井草氏】

- 皆様のお働きが、ますます用いられ、猪名川の自然の魅力と楽しさが地域の人々に届きますように、お祈りしています。

以上